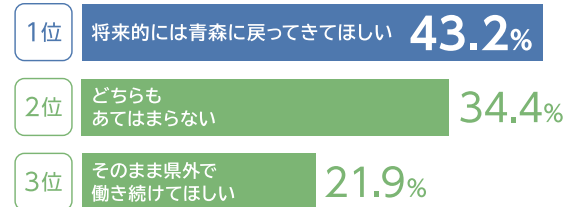


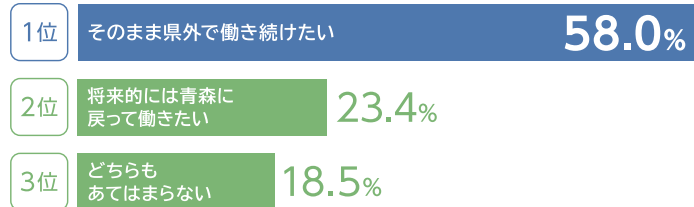
約4割の保護者は「青森県に戻ってきてほしい」、約6割の子どもは「県外で働きたい」

■子どもが県外に就職した後は？(保護者)



(県外就職希望の生徒の保護者のみ回答)

■県外に就職した後は？(子ども)



(県外就職希望の生徒のみ回答)

出典：青森県教育庁(平成28年度高校生の就職に関する意識調査)

「将来青森に戻ってほしい」と願う保護者は約4割！

子どもは親の気持ちがわかる

右のページの上のグラフは、就職希望の高校生と保護者へのアンケート調査の結果です。県内就職を希望する生徒の保護者の半数は、子どもの県内就職を希望しています。一方、県外就職を希望する生徒の保護者は、「県内外どちらでもよい」、「子どもに任せている」、「県外就職」の割合が高く、保護者の意識が子どもに影響を与えているようです。子どもには親の気持ちが伝わっています。

子どもの人生は子どものもの。だけど…

子どもには、「親のことは考えず、自分の夢をかなえてほしい」と、親なら誰もがそう思うでしょう。都会でなければ実現できない夢もあります。県外に出て、勉強をしたり、技術を身に付けたり、いろいろな人と出会い、さまざまな経験をするのも大切です。

一方で、交通網やインターネットが発達し、青森でもチャレンジできることがたくさんあります。県内では、近年、自ら事業を立ち上げる若者が大変増えており、昨年度は、過去最高の129人に達しました。

通勤や住居など、生活環境も合わせて考えると、青森で働くことには、さまざまなメリットがあります。お父さん、お母さん。子どもたちと、「青森で働く」、「青森で暮らす」という選択肢がある、ということについて話し合ってみてください。

青森で「働くこと」「暮らすこと」を親子で考えてみませんか？

数年前とは違い、青森県にはたくさんの求人がありさまざまな働き方を選ぶことができます。

新規高等学校卒業生(平成30年3月) 県内求人倍率

2.75倍 (平成30年5月末現在) 出典：青森労働局

就職率及び就職内定率(平成30年3月)

新規高等学校卒業生就職率

99.9% (平成30年5月末現在)

新規大学等^{*}卒業予定者就職内定率

97.5% (平成30年3月末現在) 出典：青森労働局

人手が不足している主な産業(平成29年度)

建設業	11.8%
宿泊業・飲食サービス業	15.5%
情報通信業	14.6%
小売業	17.4%
医療・福祉	23.5%

充足率：ハローワークの紹介により就職した人数を新規求人数で割って算出したもの
出典：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務統計」産業別新規求人・充足状況(新規学卒を除く)

